



ARTS
アーツ・フォー・ホープ
for
HOPE

ACTIVITY REPORT
2017





東日本大震災から7年、熊本大地震から2年になります。

この国の大惨事に自分たちは何ができるだろう？と自問自答しつつ、自分たちが向き合うべきことという信念に基づき歩みを止めることなく今に至り、昨年も128日間の活動を続けてまいりました。2011年から通算971日に及びます。

人々の記憶が薄れてしまった今でも、被災各地では日々、一歩ずつ復興への歩みを続け、穏やかな暮らし

が訪れてきつつある一方で、まだまだその途上にあるという現実疲れ、挫折したり、心身の健康を損なったり命を落としたり、節目節目に訪れる問題直面に心が折れることもあります。その、「心」を何とか支え、明るくしたいと奮闘を続けています。

昨年は福島県飯館村の帰村や南相馬市小高区への居住再開による新たな支援の必要性も浮上し、また震災遺児孤児や障がい児者への支援要請も増すばかりです。震災後のPTSDの影響で被災地域の子どもの不登校も5倍に上りました。また熊本では、地震のトラウマから未だに一人で家に入れず両親の帰りを待つ高学年の男子など子どもの心のケアの必要性が問われています。復興の遅れから2年たった今でも壊れた家の片隅で暮らす人々の健康問題やみなし仮設の孤独死など、さまざまな問題にも直面しています。

そんなつらい現実を少しでも吹き飛ばせるように願い、ささやかでもこつこつと、明るい話題を投げ続けていきたいと努力しています。

なお、昨年度の具体的な取り組みの概要は次ページよりご報告申し上げます。

今年度もすでに、ご希望にお応えきれないほどの要請が相次ぎ、予定調整と現場活動に、目の回るような日々が始まっています。今年も被災地に向けた皆さまの温かい応援を胸に、ご一緒に力の限り取り組んでまいりたいと思います。

どうか引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

2018年4月18日

ARTS for HOPE 代表

高橋 雅子

活動実績

2017

Apr.	18日	岩手県	陸前高田市	打越仮設住宅
	25日	宮城県	名取市	箱塚団地仮設住宅
	26日	福島県	南相馬市	大町災害公営住宅
		岩手県	大船渡市	放課後児童クラブゆうゆう
	28日	宮城県	陸前高田市	中田公営住宅
29日	福島県	仙台市 南相馬市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』 春の市民まつり	
May.	12日	宮城県	刈田郡蔵王町	特別養護老人ホームせせらぎのさと蔵王
	13日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	17日	福島県	南相馬市	南町団地
	18日	岩手県	陸前高田市	モビリア仮設住宅
	20日	熊本県	西原村	小森団地
	21日	熊本県	益城町	木山仮設団地 木山上辻仮設団地
	22日	熊本県	益城町	広安小あすなろクラブ 広安小さくらぼクラブ
		岩手県	大船渡市	野々田アパート (災害公営住宅)
	24日	宮城県	仙台市	宮城野区宮城野障害者福祉センター
	25日	岩手県	大船渡市	田中東アパート (災害公営住宅)
27日	福島県	南相馬市	東町児童クラブ	
Jun.	7日	岩手県	大船渡市	平南アパート (災害公営住宅)
	8日	岩手県	陸前高田市	今泉団地 (災害公営住宅)
		岩手県	大船渡市	上平団地 (災害公営住宅)
	9日	岩手県	大船渡市	綾里キッズ 岩手県立気仙光陵支援学校
	10日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	18日	宮城県	仙台市	仙台市福祉プラザ
	19日	宮城県	名取市	美田園第一仮設住宅
	23日	福島県	南相馬市	大町災害公営住宅
	24日	宮城県	仙台市	八本松児童館
	福島県	南相馬市	橋本町児童クラブ	
Jul.	5日	福島県	南相馬市	牛越団地 (災害公営住宅)
	7日	宮城県	名取市	箱塚屋敷仮設住宅
	12日	宮城県	石巻市	なかよし保育園
	13日	福島県	相馬市	福島県立相馬支援学校
	14日	岩手県	陸前高田市	水上団地 (災害公営住宅)
	福島県	いわき市	福島県立富岡支援学校 (仮設校舎)	
	15日	福島県	南相馬市	上町児童クラブ 原町生涯学習センター
	16日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	20日	岩手県	陸前高田市	上平団地 (災害公営住宅) 大野団地 (災害公営住宅)
	27日	宮城県	村田町	村田児童館
Aug.	3日	熊本県	熊本市	熊本大学医学部附属病院
	4日	宮城県	仙台市	宮城県障害者福祉センター
	熊本県	西原村	小森団地	
	5日	熊本県	熊本市	城南児童館
	宮城県	益城町	木山仮設団地	
	9日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	12日	宮城県	仙台市	仙台レインボーハウス
	13日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	17日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	19日	岩手県	陸前高田市	陸前高田レインボーハウス
	福島県	南相馬市	東町児童クラブ	
	20日	宮城県	仙台市	宮城社会福祉センター
	21日	宮城県	仙台市	放課後デイサービス つなぐ寺岡
28日	岩手県	陸前高田市	下和野団地 (災害公営住宅)	
陸前高田市	陸前高田市	横田中学校仮設住宅		
30日	福島県	南相馬市	上町団地 (災害公営住宅)	

Sep.	1日	宮城県	仙台市	宮城県立聴覚支援学校
	2日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	9日	福島県	南相馬市	橋本町児童クラブ
	12日	宮城県	仙台市	太白区障害者福祉センター
	22日	福島県	南相馬市	大町災害公営住宅
30日	熊本県	益城町	木山仮設団地	
Oct.	1日	熊本県	西原村	小森団地
	2日	熊本県	南小国町	黒川保育園 & りんどうヶ丘小学校
	10日	宮城県	石巻市	新立野第一復興住宅
	11日	宮城県	亘理郡山元町	国立病院機構宮城病院
	12日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	13日			ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	14日			ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
26日	岩手県	陸前高田市	中田雇用促進住宅	
Nov.	2日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	3日	福島県	南相馬市	復興あいきち 2017
	4日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	5日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	15日	岩手県	大船渡市	清水アパート (災害公営住宅)
	16日	岩手県	大船渡市	下館下アパート (災害公営住宅) 川原アパート (災害公営住宅)
	25日	宮城県	柴田郡柴田町	槻木生涯学習センター
福島県	南相馬市	上町児童クラブ		
Dec.	2日	東京都	台東区	東京藝術大学 『障がいとアーツ展』
	3日			東京藝術大学 『障がいとアーツ展』
	8日	岩手県	陸前高田市	水上団地 (災害公営住宅)
	14日	福島県	須賀川市	国立病院機構福島病院
	宮城県	仙台市	仙台赤十字病院	
	15日	福島県	相馬市	公立相馬総合病院
	16日	福島県	南相馬市	原町生涯学習センター (サンライフ南相馬)
17日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』	

2018

Jan.	20日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	27日	福島県	南相馬市	東町児童クラブ
Feb.	17日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	18日	岩手県	大船渡市	大船渡市市民活動まつり
	19日	福島県	福島市	飯館村立草野飯館幼稚園 (仮設園舎)
	24日	福島県	南相馬市	上町児童クラブ
Mar.	10日	熊本県	阿蘇市	東池尻団地 黒川団地
	11日	熊本県	阿蘇市	北塚団地 三久保団地
	12日	熊本県	阿蘇市	内牧団地
	17日	宮城県	仙台市	ARTS for HOPE 『Wonder Art Studio』
	27日	福島県	南相馬市	南相馬市民情報交流センター
	28日	福島県	南相馬市	橋本町児童クラブ
	29日	福島県	福島市	飯館村立草野飯館幼稚園 (仮設園舎)

2011年からの
総移動距離
151,228 km

移動距離
約 **28,000** km

活動日数
128 日

2011年からの
総活動日数 **971** 日

2011年からの
総支援者数
99,345 人

支援対象数
4,542 人

2017年度
活動成果
主な取組

子ども、コミュニティの“心”の応援

東北・熊本の各地で、仮設住宅や災害公営住宅、子どもの施設への訪問を続けています。



仮設住宅・災害公営住宅・子どもの施設

東北では、縮小する仮設住宅に残される住民さんの応援や、災害公営住宅の新しいコミュニティづくりを応援。熊本ではこれまでの訪問地域に加え、南小国町や阿蘇市からも要望が寄せられ初訪問しました。

TOHOKU



KUMAMOTO





震災遺児支援

「あしなが育英会」との連携事業として、震災遺児とご家族を対象としたプログラムを昨年度に続き実施しました。仙台と陸前高田にある〈レインボーハウス〉を会場に、アートを満喫するスペシャルプログラムを開催。保護者の皆さんからも感激の声をいただきました。陸前高田では地域の子どもたちも参加し、賑やかなサマーフェスとなりました。



季節イベントの開催・復興イベントへの参画

南相馬や大船渡で地域復興イベントに出店しました。〈ハッピードールプロジェクト〉のブースは毎回盛況を集め、大賑わいとなりました。ARTS for HOPEの活動で出会った子どもたちや先生、仮設住宅の住民さん、支援員さんとの再会もあり、子どもたちの成長を見守り、住民の皆さんのその後の状況を窺い知る機会にもなりました。





2017年度
活動成果
主な取組

スペシャルニーズプログラム

障がいのある子どもたちの活動も多くのリクエストをいただき、充実したプログラムになりました。支援学校では子どもたちの自発性や積極性が見られ、新たな一面の発見につながったと先生から感想が寄せられました。今も仮設住宅で生活する子どもたちも通う支援学校。いわきでは仮設校舎で運営を続ける支援学校に初訪問しました。





ワンダーアートスタジオ

2017年4月に開設したスタジオでは、毎月さまざまなプログラムを実施しています。障がいの有無を超えて、子どもたちがのびのびと創作に打ち込んでいます。3日間かけて〈アートリノベーション〉も行い、外壁や内装を子どもたちと一緒に塗り変えて大改装！今年度からは子どもたちの個性にじっくり向き合う少人数制の受講コースも開設し、新たなステージが始まります。



アート
リノベーション



2017 年度
活動成果
主な取組

飯館村の幼稚園閉園、 メモリアル アートアルバム制作

2015年から通い続けてきた飯館村立草野飯桶幼稚園が、帰村のため閉園となりました。無機質なプレハブの園舎を子どもたちや先生とカラフルに塗り変えた幼稚園。思い出の詰まった園舎での日々を忘れないでほしい。出会いから3年間の軌跡をまとめたアートアルバムを制作し、卒園の日に贈呈式をおこないました。



子どもたちの作品展

ARTS for HOPE の活動で生まれた子どもたちの作品が羽ばたいています。東京藝術大学で開催された『障がいとアーツ』展に作品が展示され、第1回福島県障がい者芸術作品展『きになるとひょうげん 2017』にも入選を果たし、会津・郡山・いわきで巡回展示されました。いずれの展覧会でも展示された〈おひさまクラブ〉の作品は、南相馬市民情報交流センター交流広場で凱旋展示。作品を制作した小さなアーティストたちへ、表彰式を行いました。



講演・フォーラム

代表の高橋雅子がチャリティイベントや啓発イベントに登壇しました。

- 熊本地震復興応援チャリティコンサート「つなごう みんなの輪 みんなの心」
- 仙台市社会福祉協議会主催の「仙台市ボランティアフォーラム」
- NPO 法人宮城県患者・家族団体連絡協議会主催の「難病患者等ボランティア講座」



参加者の声

【アンケートより抜粋】

震災以来、発散の場もなく、心底笑うことを忘れたような子どもたちでした。しかしあの日、体中を絵の具いっぱいにした無心の子どもたちの姿が輝いて見えました。最高の場を設けていただき、ありがとうございました。

(熊本/児童クラブ先生より)

子どもたちの生き生きとした表情、真剣な表情が印象的でした。震災から時間が経ちましたが、まだまだ完全に復興したとは言えません。活動を通して、さらにたくさんの笑顔が広がっていくことを願います。

(東北/児童クラブ先生より)

アートを通して心のつながりや人の温かさを伝える活動だと思います。言葉では伝えることが出来ない子どもたちが、描くことで思いや心を表現できることを知ったり、喜びを感じることが出来たと思います。園が被災し、残念で大変なことが数多くありましたが、子どもたちの楽しそうな顔、嬉しそうな顔をたくさん見る事ができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

(熊本/保育園先生より)

素晴らしいです！なにより子どもたちの「もっと！」「楽しい！」の声が聞いて本当に嬉しかった。今後も継続してほしいです。

(東北/障がい児のクラブ職員さんより)

入居者同士、コミュニケーションを図るのは大変なこと。〈ハッピードールプロジェクト〉に参加した人たちは精神的に助けられたと思います。

(東北/災害公営住宅自治会長さんより)

！お便りもいただきました！



サポーター

2017年度も企業・団体・個人の皆さまから温かなご支援をいただき、現地活動に大切に活用させていただきました。心より御礼申し上げます。(順不同・敬称略)

助成

赤い羽根チャリティホワイトプロジェクト
大東建託グループ みらい基金
南相馬市 子育て応援基金
こどもゆめ基金
赤い羽根共同募金 ボラサポ・九州

協賛

リオ ティント ジャパン株式会社
シチズン時計株式会社
株式会社第一製版
小江戸大江戸トレニックワールド
株式会社ジェーシービー
公益社団法人日本フィランソロピー協会

ご寄附

佐藤保雄	福原一	菊地誠
澤田克己	守栄一	菊地ふみ
宮里喜久子	阿部千恵美	菅野克広
布井希美	高橋康子	野崎春子
植松健	坪井利枝	栗栖みゆき
中道主税	池田忠利	田島敦子
滝井真智子	嶋田朝子	堀野百合子
笠木恵子	長尾浩二	石毛慎也
金子史絵	長尾圭子	石毛恭子
三浦しほ	丹治武志	長谷幼稚園保護者の皆さま
中村秀幹	柳田誠二	HONOBONO 展一同さま

物品寄附

三浦潤 松本和美 江東 YMCA 幼稚園父母の会

メディア掲載

2017年

4月	冊子	Five Senses (IHRSヒーリングリラクゼーション協会)
4月27日	新聞	東海新報
5月14日	新聞	朝日新聞
5月16日	ラジオ	J-WAVE
5月20日	テレビ	熊本朝日放送
5月21日	新聞	毎日新聞
5月22日	テレビ	テレビ熊本
6月9日	新聞	岩手日報
6月11日	新聞	東海新報
6月28日	新聞	東海新報
7月14日	テレビ	テレビユー福島
7月15日	新聞	福島民友
7月17日	新聞	福島民報
7月23日	新聞	福島民報
8月20日	新聞	東海新報
8月21日	新聞	岩手日報
8月24日	新聞	朝日新聞
10月6日	新聞	熊本日日新聞
	テレビ	みなみチャンネル

2018年

2月19日	テレビ	テレビユー福島
2月19日	テレビ	福島テレビ
2月19日	テレビ	福島放送
2月20日	新聞	東海新報
2月20日	新聞	福島民報
2月20日	新聞	福島民友
3月11日	新聞	熊本日日新聞
3月30日	新聞	福島民報

復興描く 明るく でっかく



南小国町で創作イベント

「復興を描く、明るく、でっかく」というイベントが13日、仙台市若林区であった。1〜9歳の子ども約25人が、壁やマットに思い思いの絵を描いて交流した。

企画したのは、東京の非営利団体「ワンダーアートプロジェクト」。震災直

楽しくアート 心を通わせて 仙台で催し

障書児と健常児が、芸術を通して理解を深め合おうというイベントが13日、仙台市若林区であった。1〜9歳の子ども約25人が、壁やマットに思い思いの絵を描いて交流した。

企画したのは、東京の非営利団体「ワンダーアートプロジェクト」。震災直

後から、被災地支援にあたるチーム「アーツ・フォー・ホープ」で美術創作を通じて被災者をケアしてきた。昨年からは若林区に空きビルを借り、障害者と健常者をつなぐ創作の拠点づくりを進める。内装デザインに子どもや大人らが描いた絵を生かす試みの一環で、この日は聴覚障害や発達障害などがあつた子と健常児が挑戦。マットに赤、青、緑の絵の具を塗り、カーテンとして使う透明ビニールにクレヨンでチューリップやママの顔を描いた。

仙台市泉区の小学1年、村上珠唯さんは「絵を普段はできないところに描けて楽しかった」と話した。

(桑原紀彦)



来月閉館 飯館の草野・飯種幼稚園

思い出をアートの

飯館町の草野・飯種幼稚園が、2018年2月20日（平成30年）に閉館する。幼稚園の閉館を記念し、園児や職員、保護者らによるアート制作イベントが、2月20日（平成30年）に開催される。この日は、幼稚園の思い出をアートで表現し、思い出をアートに描き出すというイベントが、園児や職員、保護者らによるアート制作イベントが、2月20日（平成30年）に開催される。

福島民報

2018 (平成30) 年 2月20日 火曜日

東海新報

平成29年(2017年) 6月28日 水曜日

17939号 平成29年(2017年)6月28日(水曜日) 日曜日は休刊

10年は活動続けたい

ARTS for HOPE代表 高橋 穂子

アートの方で東北の復興を支援しようという目的に動き続けており、東日本大震災後、被災3県を中心に約200カ所で850回を超える活動を重ねてきた。

発信では、仙台市若林区内に設けた若手生活者拠点に、芸術活動の場や学校などで働きかけている。

活動内容は、多様な動物の布を使ってドール作りを主とした「ハッピードールプロジェクト」など、七夕のプロジェクトが中心。団体の本拠がある東京では、「大震災は「終わったこと」と考える人も少なくない」といらい、プロジェクトで作られた作品の展示会など、震災の記憶風化を防ぐ取り組みもしている。

活動が止まっても10年は続けたい」と力を込める。

・けせん路 ひと・けせん路 ひと

☐ サポーター大募集

震災はまだ終わっていません。8年目を迎えるARTS for HOPEとともに、東北や熊本を応援してください。皆さまの温かなご支援を宜しくお願いいたします。

☐ 企業の皆さまへ

CSR活動を通して、ともに東北や熊本を応援するパートナー企業を募集しています。

- ・ 特定プログラムにおけるパートナーシップ
- ・ 特定地域におけるパートナーシップ
- ・ 子どもたちの作品を起用したチャリティグッズの企画開発など

☐ 会員募集

年会費：(個人) 5,000円 (18歳以下) 3,000円

お振込先：三菱東京UFJ銀行 成城支店 (普) 0086309 アーツフォーホープ

ゆうちょ銀行 記号：10140 番号：93560791 アーツフォーホープ

*会費をお振込みの際は、お手数ですが電話・FAX・メールで下記までお知らせ下さい。

*支援者の皆さまには活動毎の報告書をメールでお送りします。また、年度報告書やプロジェクトの記録集を贈呈します。



ARTS for HOPE

東京事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-16-5-501

TEL：03-6240-1525 FAX：03-6240-1528 E-mail：artsforhope@gmail.com



Homepage facebook

岩手支局

〒029-2208

岩手県陸前高田市広田町字田端 4

宮城支局

〒984-0073

宮城県仙台市若林区荒町 172 第一旭ビル 2 階

福島支局

〒975-0008

福島県南相馬市原町区本町二丁目 104

<http://www.artsforhope.info>